



質問は6月9日、10日、12日の3日間で行いました。(質問の順序は抽選で決められ、その順に各議員から提出された要約原稿のとおり掲載しています。)

### 問 三山木幼稚園の増築を 答 受入れ計画を検討している

岡本亮一 議員 (共産党)



入園希望者が増えている三山木幼稚園  
(三山木幼稚園HPより)

市南部地域は、人口増加に伴い三山木幼稚園の二

援事業計画の策定を進める中で、三山木幼稚園を含め具体

ズが高まっている。今後の対策として、入園希望者全員を受け入れることができるよう、三山木幼稚園の増築を考えたがどうか。

【教育部長】平成27年度から5カ年にわたる子ども・子育て支

### 問 通学路 安全確保を完全に

### 答 一丸となって取り組む

小林喜代司 議員 (自民・新栄会)

通学路の安全確保は、鳥岡市で発生した事故後、すぐ市長を先頭に市内全域を調査された結果、対策が必要とされた箇所が120カ所あった。順次、整備を進められて



整備が必要な通学路(田辺地内)

いるが、また全く対策が取られていない通学路が残っていることも事実である。通学路である以上は児童の安全確保のため、早急に対策を進めていきたいと思います。

【教育長】通学路の安全確保については最重点で取り組んでいるが、物理的な条件もいろいろある。要するがどうか。

関係機関と十分に協議を行いながら、安全確保に努力したい。

【市長】農業の振興は、緑豊かな文化田園都市京田辺を実現する上で、欠かすことのできない重要なものと考えている。このため田辺ナスやエビイモなど、ブランド力のある特産品の育成を始め、玉露のまちとして、生産・販売に努めている。普賢寺地域の方々が「農」をキーワードに自主的に地域の活性化に取り組まれることに對し、平成26年度に創設した補助金を活用するなど積極的に支援したい。

### 問 認知症の福祉対策は

### 答 「認知症カフェ」を計画

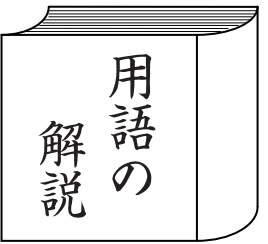
奥西伊佐男 議員 (一新会)

高齢化が進む中で認知症が社会問題になっている。本市でも国の調査に先駆けて独居高齢者を対象に調査したが、その結果は、今後、福祉

計画策定にあたりどのような施策で課題に取り組むのか。

【市長】認知症対策にはさまざまな状況等を把握し、十分注視すべきと考えている。

【健康福祉部長】平成26年度は認知症カフェ等を計画し、安心して生活ができる環境整備に努めた。また、次期実施計画策定はニーズを把握し、学識経験者等による検討委員会での計画をまとめた。



#### ◆賦課限度額

(1面1段目)

年間徴収額の上限のこと。今回、平成26年4月1日から、後期高齢者支援金、及び介護納付金に係る賦課限度額が、それぞれ2万円引き上げられた。

#### ◆要配慮者

(2面6段目)

災害時、自力での避難が困難な高齢者、障がい者、難病患者、外国人、妊婦及び乳幼児のこと。

#### ◆受益者負担

(4面左1段目)

国および地方公共団体が、その公共施設などの利用によって利益を受ける個人または一定地域の住民に、施設の建設・維持費の一部を負担させること。



認知症を取り上げた新聞記事

【建設部長】既に調査、測量に着手。雨水排水ルートの抜本的な見直しも検討している。

【市長】課題について、早急に整備事業を進めるべき。その間、ポンプアップ等、応急措置を継続してほしい。